

授業科目

小児発声発語障害学演習

担当教員名 大湊 麗	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	◎	◎

授業の概要

機能性・器質性構音障害について、主に演習形式で学習する。

授業の目的

機能性・器質性構音障害の基本的技能を習得する。

学習目標

機能性・器質性構音障害の評価、診断、治療の流れを実践できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	口蓋裂言語の評価：構音	演習	大湊 麗
2	口蓋裂言語の診断：構音	演習	大湊 麗
3	口蓋裂言語の治療：構音	演習	大湊 麗
4	口蓋裂言語の評価：鼻咽腔閉鎖機能	演習	大湊 麗
5	口蓋裂言語の診断：鼻咽腔閉鎖機能	演習	大湊 麗
6	口蓋裂言語の治療：鼻咽腔閉鎖機能	演習	大湊 麗
7	粘膜下口蓋裂	演習	大湊 麗
8	先天性鼻咽腔閉鎖機能不全	演習	大湊 麗
9	合併症	演習	大湊 麗
10	症例検討	演習	大湊 麗
11	症例検討	演習	大湊 麗
12	関連疾患	演習	大湊 麗
13	関連疾患	演習	大湊 麗
14	患者心理	演習	大湊 麗
15	まとめ	演習	大湊 麗

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂機能性構音障害（言語聴覚療法シリーズ7）	本間慎治	建帛社	2007年	2,500円＋税	小児発声発語障害学Iの教科書と同じ
	器質性構音障害（言語聴覚療法シリーズ8）	斉藤裕恵	建帛社	2002年	2,600円＋税	小児発声発語障害学Iの教科書と同じ
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験、レポート

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。